

## ボーナスLAC-1サウンド : Richard Devine Legacy Cell

Richard Devineによる、Korg Legacy Cellサウンド・データを、OASYS LAC-1用にコンバートしたサウンド・データです。このデータには72個のコンビネーションと199個のプログラムが含まれます。

このボーナス・データでは、OASYS LAC-1プリロード・データと異なり、各種コントローラーやKARMA機能の詳細設定はありませんが、Korg Legacy Cell用に作成されたサウンドをOASYS上で再現することができます。

### サウンド・データのロード方法

1. ダウンロードした.zipフォーマットの圧縮ファイルを解凍してください。DEVINE.PCGファイルと、説明書が含まれます。
2. DEVINE.PCGファイルを、コンピュータに接続したハードディスクやフラッシュ・メモリー等のUSBストレージ・デバイスやISO9660 CD-R/RWディスクに書き込みます。
3. USBストレージ・デバイスを、OASYSのUSB端子に接続します。CDの場合、OASYSのCD-R/RWドライブにセットします。
4. USBストレージ・デバイスの場合、Diskモード、Media Informationページのページ・メニュー・コマンド“Scan device”を、実行します。
5. 必要に応じて、Diskモード、Utilityページのページ・メニュー・コマンド“Copy”を使用して、USBデバイスやCDのDEVINE.PCGファイルを、OASYS内蔵ハードディスクにコピーして保存してください。

次に、Diskモードで、OASYSインターナル・メモリーにロードします。DEVINE.PCGファイルには、以下のデータが含まれます。

- ・プログラム : USER-Bバンク、USER-Cバンク
- ・コンビネーション : USER-Bバンク

DEVINE.PCGファイルをロードすると、データがこれらのバンクにロードされます。これらのバンクへのロードを推奨しますが、任意のバンクにロードすることも可能です。

#### [ロードの手順]

1. [DISK]スイッチを押してDiskモードに入ります。
2. Fileタブ、Loadタブを順番に押して、Diskモード、Loadページを選びます。LCD画面にファイル情報が表示されます。
3. “Drive Select”でUSBデバイス、CDドライブまたは内蔵ハードディスクを選びます。
4. DEVINE.PCGファイルを選びます。選んだファイルの表示が反転します。
5. Loadボタンを押すと、ダイアログが表示されます。ページ・メニュー・コマンドの“Load selected”を選んで、同じダイアログが表示されます。
6. OKボタンを押してロードを実行します。

#### [任意のプログラムEXiバンク、コンビネーション・バンクへロードの手順]

1. 「初期設定バンクへロード」の1～4で、DEVINE.PCGファイルを選びます。
2. OPENボタンを押します。Programsが表示されます。
3. Programsを選び、OPENボタンを押します。Bank U-B、Bank U-Cが表示されます。
4. それぞれを選択してLoadボタンを押すと、ダイアログが表示されます。ページ・メニュー・コマンドの“Load selected”を選んで、同じダイアログが表示されます。

5. To: でロード先のバンクを選択します。
6. OK ボタンを押してロードを実行します。
7. 同様にCombinationsのBank U-Bを任意のバンクにロードします。

[!] コンビネーションは、プログラム・バンクU-B、U-Cが設定されています。プログラムを異なるバンクにロードした場合は、これらのバンクを設定しなおす必要があります。Globalモードの“Change all bank references” ページメニュー・コマンドを使用して、プログラム・バンクU-B、U-Cをそれぞれロードしたバンクに設定しなおしてください。

## コントローラーについて

### Control Surface

全てのプログラムでは、Control Assignが、Tone Adjustに設定されています。Control Surfaceスライダー、スイッチを操作して、MS-20EX、PolysixEXのパラメータをコントロールすることができます。

### JS+Y、SW1、SW2

通常、JS+Yでは、サウンドを変化させる設定になっています。SW1、SW2は、必要に応じて、コード・モードやPolysixのアルペジエータをコントロールする設定になっています。

### AMS、EGs、LFOs、etc.

これらのプログラムは、Legacy Cell用サウンド・データをコンバートしたものです。したがって、OASYS LAC-1 MS-20EX、PolysixEXで追加された各パラメータのAMS機能、追加EG、LFO、ステップ・シーケンサーは、まったく使用されていません。これらを使用して、独自のプログラムを作成してみてください。

### Ribbon、JS-Y、Vector Joystick

これらのコントローラーには、機能は設定されていません。LAC-1プリロード・プログラム・バンクU-Dで確認できるような、サウンド・コントロールやバリエーションを得ることはできませんが、独自のコントロールを追加してみてください。MS-20EX、PolysixEXで追加された各パラメータのAMS機能により、簡単にコントロールの追加が可能です。